

山口県公立大学法人評価委員会（第17回）の審議要旨

- 1 日 時 平成23年11月25日（金） 10:00～12:00
- 2 場 所 山口県庁共用第2会議室
- 3 出席委員 牛見委員長、呉委員、樋口委員、二木委員、松浦委員（50音順）
- 4 審議事項 第2期中期目標（案）・中期計画（素案）（平成24～29年度）について
- 5 審議要旨 [● 委員 ◇ 委員長 □ 法人 △ 県]

〔中期目標〕

- 中期目標は非常に簡素になり、目を通しやすくなった。ただ、第1期の目標では、項目毎に「目指す姿」を象徴する言葉使い（例：教育を重視する大学として）がされていたのに、第2期の目標ではなくなっている。このように表現を変更した意図は何か。

△ 第1期は、基礎づくりということもあり、目標段階で、網羅的で事細かな振り付けをした部分が多かった。第2期においては、設置者として求める取組内容のポイントを具体的に分かりやすくという観点で、簡素化を図ったものである。

〔中期計画〕

- 中期計画の数値目標として「100%」を多く掲げているが、1人でも例外が出ると目標が達成できなくなる。目標は、絵に描いた餅にならないよう、頑張れば達成できる水準に設定する方が良い。

- 基礎的なものや大学2年生を修了した段階で当然身に付けておかなければいけないレベルのものであれば「100%」を目標にしても良いが、そうでないものは「95%～100%」という表現にした方が良い。

□ 大学の「質の保証」として自信をもってPRできるものや、就職率など大学の目指すべき姿として当然に目標を「100%」とせざるを得ないものについて、「100%」という設定をしている。

- 表現の中で「目指す」という言葉と、「支援する」という言葉があるが、この違いを教えてほしい。

□ 「目指す」という表現は、6年後の達成水準を念頭においた項目に使用している。

- 社会福祉学に係る専門教育の中に、「人々の健康とは、身体的・精神的・社会的に良好な状態にあること」との記載があるが、「社会的に良好な状態」とはどういう状態かを教えてほしい。
- 人々の幸福には、様々な要素があるが、経済的基盤や生き甲斐など、幅広いものを含めた言葉として「社会的」という言葉を使って表現している。
- 「本学留学生と県民との交流機会を6年間でそれぞれ2回程度設け」とあるが、「それぞれ」の意味を教えてほしい。
- 6年間で、「全19市町各2回ずつ」という意味である。
- 包括連携協定の中身を教えてほしい。
- 双方の機能を生かして人材育成あるいは地域振興等の取組を協働してやっていきましょうといった内容の協定を想定している。
- 経費支出に関して、第1期で重点的に配分を行った分野を教えてほしい。
- 経費支出については、人件費がその太宗を占めているが、人件費以外では、文部科学省のG P事業、法人化に際しての基盤づくり（広報活動、職員研修など）に重点配分を行った。
- 国際文化学部文化創造学科で、「学外で発表体験をすること、批評を受けるような体験を在学期間中に複数回積むことができるようにすることを目指す」と記載されているが、具体的にどういったことを想定しているのか。
- 地域文化やデザインといった分野は発表する機会がなかなかない。昨年12月に文化創造学科が主体となってイベントを行ったが、市民の方々に見ていただくことで、非常にやる気になった。文化の創造には、外の世界と接点を持つことが非常に大事だと考えている。そのような機会を設けていきたい。
- 大学生が発表する場は、周りを見回しても多くない。そうした意味で、イベントや、どこかと連携しながら発表の場を創り出す必要性があると思う。準備は大変だが、今後とも、そういった仕掛けづくりを行っていただきたい。
- 現在行っているキャリアアップ研修に、どのようなものがあるか教えてほしい。
- 発達障害に関する研修、栄養士のキャリアアップ研修、メタボリックシンドローム対策に関する研修など、大学の特色が生かせる内容のキャリアアップ研修を行っている。

- 地域の方や仕事をしておられる方たちを対象として、キャリアアップを目的とした研修会を開催するのは県立大学の一つの役割だと思う。社会福祉の分野では、自施設内でキャリアアップを図ることが難しい部分もあると思うので、そういった研修についても計画していただきたい。
- 「教職員研修の計画的推進」の中で「教員海外派遣」と書いてあるのは、「教職員海外派遣」としたほうが良いのではないか。
- 教員だけでなく、事務職員の能力向上を図る研修は大事だと感じている。
- 海外に行くのは、これまでは教員が中心になっていたが、円滑な業務遂行を図る観点で、職員もという部分が大事だと思う。
- ◇ 中期目標（案）は「適当である」という結論としたい。
中期計画については、本日の意見を参考にして、今後更に改善を図っていただき、3月の評価委員会で審議、意見のとりまとめを行う。

以 上